

カゼロンSカプセル

第②類医薬品

製品の特徴

本品は非ピリン系のかぜ薬です。中味が液状ですから吸収されやすいのが特長で、かぜの熱、せき、痛みを和らげ、鼻みず、鼻づまりなどの不快な症状を効果的に改善します。有効成分を溶かし込んだ液状ですから、体の中ですみやかに吸収され、しかも服用しやすい小型のカプセル剤です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

- 次の人は服用しないこと。
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3) 7歳未満の幼児には服用させないこと。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気等があらわれることがある)
- 服用前後は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 高齢者。(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6) 次の症状のある人。・・・高熱、排尿困難 (7) 次の診断を受けた人。・・・甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	泌 尿 器	排尿困難
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温の低下
精神神経系	めまい		

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状	症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる	間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する	腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢、尿量減少等があらわれる
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる	ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。・・・口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状が良くならない場合には服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

●【効能・効果】

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和。

●【用法・用量】

年齢	1回服用量	1日服用回数
15才以上	1回 2カプセル	3回
7才～14才	1回 1カプセル	

1日3回食後なるべく30分以内に服用してください。7才未満は服用しないこと。

（注意）

- (1) 定められた用法・用量を守ってください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

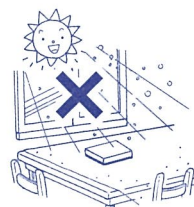
●【成分・分量】 1日量（6カプセル）中

成分	含量	成分	含量
アセトアミノフェン	900mg	クエン酸チペビジン	60mg
塩酸トリプロリジン	4mg	d0-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg

なお、添加物として、ポリソルベート80、グリセリン脂肪酸エステル。またカプセル本体に、ゼラチン、マクロゴール、ラウリル硫酸Na、酸化チタン、三二酸化鉄を含む。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しいところに保管すること。
- (2) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。



カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

（シートごとのみこむと、のどに突き刺さるなど思わぬ事故につながるためご注意ください。）



副作用被害救済制度 電話：0120-149-931

【製造販売元・お問い合わせ先】

太陽堂製薬株式会社 お客様相談室

〒635-0153 奈良県高市郡高取町下土佐 578

電話 0744-52-2174（受付時間 8:30～17:00 土・日祝を除く）